



平成20年年頭の挨拶

理事長 藤野 馨

明けましておめでとうございます。ホ号棟の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

本年は、子（ね）、平成20年、並べてみると、新しい意欲が湧いてくる節目の年と思えます。

管理組合の今年最大の課題は、「建築後40年の建物を、どうするか。」であります。改装・修繕でゆくのか、思い切って建替えるのか、組合員皆様の選択に懸っております。その選択にしたがって、理事会を中心に計画を推進する年であります。

いずれにせよ、意欲的に取り組みます。

多くの緑、広い空地、何よりも南に広がる多摩川、清流、渡ってくる風、この恵まれた環境を活かしながら、21世紀にふさわしい、近代的な生活を、若い人も高齢者も、エンジョイできるように、皆様の知恵と力をお借りし、果敢に取り組みます。

こうしたことは、東京都住宅供給公社、多摩川住宅ハ・ニ・ホ・ト各号棟の管理組合で昨年来進めています「街づくり（地区計画）準備会」、更にイ・ロ・ハ・ニ・ホ・トの各号棟・伊勢丹・中央商店街で構成する自治連の中で、協議しながら進めていきます。

最後になりますが、地域活動委員会、タマリバ委員会、各クラブ活動、防災（避難）訓練、お花見、筍掘り、七夕、団地祭り、地域運動会、芋煮会、餅つきの各行事に関わっていただく方々、今年もホ号棟の楽しい生活をよろしく願います。

ホ号棟380戸は一家族、健康で、明るく楽しい一年を送りましょう。

